

# 令和4年度「素描」シラバス

学年	学科・コース等	教科	科目	単位数	履修形態
3年	美術科	美術	素描	2	必修
<b>教科書</b>	WARM UP!				
<b>副教材</b>					

## 学習の目的

- 1 表現材料の特性について理解を深めるとともに、対象を深く観察して表現を工夫しながら的確に描写する基礎となる技能を身に付ける。
- 2 対象のイメージや空間を把握するための基礎となる思考力, 判断力, 表現力等を育成する。
- 3 素描による造形表現を追求する態度を養う。

## 学習の目標

<b>I</b> 知識・技能	素描に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深めるとともに、独創的・創造的に表すことができるようになる。
<b>C</b> 思考・判断・表現	素描に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ、創造的な思考・判断・表現ができるようになる。
<b>E</b> 学びに向かう力・人間性等	主体的に素描に関する専門的な学習に取り組み、感性を磨き、造形表現を追求する態度を養う。

<b>つきたい力</b>	課題発見能力。対象のイメージ、空間、形態を把握する能力。 制作を通して自分の主題や形態・空間を追究する姿勢。 既存のものを組み合わせて創り出す力。プレゼンテーション力。
--------------	--

評価方法	I	C	E
◇ 制作途中の作品を振り返り、自己評価を行います。(Google Classroomの課題)	○	○	
◇ 作品完成後は作品をプレゼンテーションしたり、互いに講評し合い、自身の思考の広がり、深まりを評価します。	○	○	○
◇ 完成作品や振り返りの記録(ワークシート等)を、題材に応じた観点で評価します。	○	○	○

## 履修上の注意および学習のアドバイス等

- ◇ 作品制作に必要な画材の準備、情報の取材は自主的に取り組むよう心がけましょう。
- ◇ 提出物は「授業の成果」になります。期限を守り、必ず提出してください。
- ◇ 制作はI・C・Eを相互に関連させ深めていく活動です。画材や技法への探究心を持って取り組んでいきましょう。
- ◇ 鑑賞では作品の良さや美しさを感じ取り、作者の個性や美術文化の良さ感受する姿勢を持って臨みましょう。
- ◇ 自分の考えを深めたり、伝えたりする活動の際は「絵」と「文字」を活用します。

## 年間指導計画

学期	月	学習内容	学習のねらい・目標	考査	思考を深める問い (C・E)	I: 知識理解	C: 思考判断表現	E: 学びに向かう力・人間性
第1学期	4	構成デッサン① ・紙コップと手を構成しデッサンする  クロッキー ・身近なものを対象に、クロッキーに取り組む	・モチーフを平面上で再構成する力、描写力を高める。 ・作品を造形要素で分析し、自身の強み・弱点を理解し、次の制作につなげる。  ・観察力、描写力の向上、形状記憶のストック		・構成の主題は何ですか？  ・そのクロッキーの目的は何ですか？	○	○	○
	5	石膏デッサン・静物デッサン①	・対象の特徴を理解し、描写方法を選択・工夫する。 ・作品を造形要素で分析し、自身の強み・弱点を理解し、次の制作につなげる。		・モチーフの特徴が出るためにはどんな描写の工夫ができますか？		○	○
	6	テーマ別課題① 自分のテーマに応じた課題を設定し、制作に取り組む。	・自身の主題を生成し、素材や技法を選択して、表現を追求する		・作品について(主題、素材、技法)説明してください。		○	○
	7	人物デッサン	・対象の構造を理解し、描写方法を選択・工夫する。 ・作品を造形要素で分析し、自身の強み・弱点を理解し、次の制作につなげる。	人物デッサン	・人物の構造、人物を支える空間を描くためにはどんな工夫ができますか？		○	○
第2学期	9	石膏デッサン・静物デッサン②	・自分の選択した描画材、モチーフをもとに、基礎造形力を高める。		・モチーフの特徴が出るためにはどんな描写の工夫ができますか？	○	○	○
	10	構成デッサン	・モチーフを画面上で構成して、デッサンに取り組む。	構成デッサン	・その構成にしたのはなぜですか？ ・構成、主題が伝わるための描画の工夫は何ですか？	○	○	○
	11	テーマ別課題② 自分のテーマに応じた課題を設定し、制作に取り組む。	・自身の主題を生成し、素材や技法を選択して、表現を追求する	自分の作品に関する振り返り	・作品について(主題、素材、技法)説明してください。		○	○
	12							
第3学期	1							
	2							
	3							

※行事等で変更になる場合があります。